

令和4年度 第3回 浜松市立細江中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月22日（水） 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立細江中学校 会議室
- 3 出席委員 山本 浜雄、大谷 純一、安形 直人、内山 有香、加茂 里佳、鈴木 あおい、
金原 啓介、荒谷 朋子
- 4 欠席委員 加茂 俊武、吉田 真譽
- 5 学 校 成瀬 滋厚（校長）、久保 賢治（教頭）、伊藤 邦和（専門監）、
宮津 宗之（主幹教諭）、鈴木 小百合（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 小百合

9 議長の選出

山本委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1） 学校関係者評価について
- （2） 令和5年度学校経営方針について
- （3） 学校運営協議会の自己評価について
- （4） 夢育やらまいか事業（CS加算分）報告について

11 会議記録

司会の山本委員から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達成しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価について

主幹教諭から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・タブレットの項目の数値が低いと思う。せめてログインは100パーセントにしてほしい。できていない子のフォローをしてほしい。（内山委員）
- ・ログインすることができたというのは、今年からの項目か？来年度は必要ないと思う。タブレットを学習に活用できたという項目が76パーセントと少ないので、大丈夫かなと心配になった。（荒谷委員）
- ・Z世代のSNS利用について社会的問題となっているが、生徒のアンケートに「社会的問題とならないようにSNSを使いこなせる」という項目を作ってもいいと思う。（金原委員）
- ・職場体験先への依頼を毎年やっていくのであれば、受け入れ先からの意見を学校運営協議会の委員にも知らせたい。（内山委員）
- ・生徒たちは一生懸命やってくれたのでよかったと言っている企業もあったが、受け入れて苦労していることもあると思うし、慣れていない、機密保持で受け入れが難しいという企業もあった。事情はそれぞれ聞いてみないと分からないが、受け入れた側がどんな感じだったか知れると、依頼する

際に他の企業はこんな感じだと伝えられることもあると思う。（大谷委員）

（2）令和5年度学校経営方針について

校長から、別紙資料に基づき令和5年度学校運営方針について説明があった。

令和4年度はキャリア教育の優良校として文部科学大臣賞を受賞した。学校運営協議会のみなさまのご尽力のおかげだと感謝している。令和5年度も脈々と続いているものを踏襲していくので、引き続きご支援ご協力をお願いしたい、との発言があった。

委員からは以下の発言があった。

・今年度は非常に充実した1年だった。来年度もキャリア教育などをますます充実して欲しい。

（山本委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（3）学校運営協議会の自己評価について

山本委員から、別紙資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・ホソトレで学んだことを実生活に結び付けるのはなかなか難しいが、子供たちが成長し大人になってから生きてくると思うので、今後もぜひ継続して欲しい。（大谷委員）

・来年度はホソフェスでの発表を1～3年生が一緒になってやるとのことだが、とても良いと思う。今の3年生が1年生の時から見ているが、年々説明が上手になってきている。（山本委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（4）夢育やらまいか事業（CS加算分）報告について

教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業（CS加算分）について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・保護者や地域へ意見を発信するとあるが、もっと達成したいと思う。例えば、ホソフェスでは一部の発表しか見ることができなかったのも、他にどういう発表があったのか知りたいと思う。それを知るにはどうしたらよいか。（内山委員）

→学校としても検討したいと思う。（教頭）

・地元企業や大学など他機関と協働した学びをするとあるが、神野大地さんの講演会はとても有意義だったと思う。また、以前行っていた大学の先生の後援会などはとても刺激があつてためになると思うので、コロナも少しずつ落ち着いてきたし、来年度は面白い話を聞く機会を増やして欲しいと思う。（荒谷委員）

その他報告事項等

教頭から、令和5年度第1回目の会議は、令和5年6月9日（金）13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。

令和4年度 第2回 浜松市立細江中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月18日（金） 13時15分から15時15分まで
- 2 開催場所 浜松市立細江中学校 会議室
- 3 出席委員 山本 浜雄、大谷 純一、加茂 俊武、安形 直人、内山 有香、加茂 里佳、鈴木 あおい、金原 啓介、荒谷 朋子
- 4 欠席委員 吉田 真譽
- 5 学 校 成瀬 滋厚（校長）、久保 賢治（教頭）、伊藤 邦和（専門監）、宮津 宗之（主幹教諭）、鈴木 小百合（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
（1）「ホソ・フェス」（ふるさとキャリア教育）について
（2）学校教育運営上の課題と対策について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 小百合
- 10 会議記録
司会の久保教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達成しているため、会議が成立している旨の報告があった。

熟議の前に以下のことが行われた。

1 会長あいさつ

美術部の生徒が環境大臣賞を受賞し、駅伝県大会では女子優勝、男子3位という素晴らしい成果をあげている。ラッピングされた「みをつくしバス」は12月20日に北区役所でお披露目予定。今年度もまちづくり協議会で生徒たちに発表してもらいたいと思うので、運営協議会委員のみなさんの意見も聞きたい。本日の発表を見て実現可能なものを推薦してほしい、との発言があった。

2 校長あいさつ

2年生に引き続き、1年生の職場体験の事業所探し等にもご尽力いただき感謝している。2学期に行われた行事は3年生を中心に積極的に自分たちで作り上げ、今年度から「ホソ・フェス」の司会進行を3年生が行うようにした。また、女子駅伝部は全国大会出場が決まった。部活動は結果も大事だが、周りから応援されるチームになってほしい。細中の生徒はマナーがいいと他の地域の方からも褒めてもらった、との発言があった。

3 議長の選出

委員から山本会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

4 前回（令和4年度第1回）の会議録の確認

(1) 「ホソ・フェス」(ふるさとキャリア教育)について

細江中学校はキャリア教育の推進について力を入れているが、「ホソ・フェス」をご覧になったの感想や意見を伺いたいと司会よりあった。

委員からは以下の発言があった。

- ・観光について発表したあるグループは、以前行われた講話を深掘りした内容で良いと思った。みなさんユーモアを交えた発表でプレゼンの仕方も上手だった。1年生も今日学んだことを来年度に生かせると思うので良いと思った。(安形委員)
 - ・細江町に人を呼ぶための提案が柔軟に考えられていた。ただ、パワーポイントを使った発表は少し殺風景だった。作ったものを展示したり、手書きにしたりすることで伝わることもあるので、発表のスタイルをもっと柔軟にすると良いと思う。参観の保護者が少なかったので、時間帯を変えるなどしてもっと多くの保護者に見てほしいと思う。(内山委員)
 - ・スライド式で分かりやすかったが、以前と比べるとユーモアが少なかった。手書きもあると良いと思うが、素敵な写真などはスライドの方がみんなに伝わるのだと思った。子供たちの意見をより多くの人に聞いてほしいと思った。(加茂里委員)
 - ・今何ができるかを現実的に考え、きちんと計画をたてて実現可能な提案をしているグループが多かったので、おもしろいと思った。パワーポイントの機能を使って、もっとおもしろい資料が作れると良いと思う。(荒谷委員)
 - ・もっと突拍子もないおもしろい発想があると良いと思った。司会進行を子供たちに任せたことで、いろいろな姿を見られて良かった。また、学校が整理整頓されていて綺麗だったし、掲示も工夫されていて良いと思った。(金原委員)
 - ・大人が考えるような実現可能な提案が多かった。途中でクイズを交えるなど工夫をしていたのは良かった。あるグループの子は、自分で描いたイラストをパワーポイントに取り込んでいたので、自分たちの特色を見せられるのはすごいと思った。(鈴木委員)
 - ・暗唱している子がほとんどだったので、すごいと思った。内容は年によって違うと思うが、頑張っていてやっていたし、パワーポイントを使いこなしていて素晴らしいと思う。考えながらやるのが大事だと思う。(大谷委員)
 - ・現実的なものがあったり、実現不可能なものがあったり、いろいろあって良かったと思う。知ることと知らせることが大事。どうやって伝えるか考えている。ただ、発表する声に元気がなかった。発表する時にアクションをつけると良いかもしれない。全体的に面白かった。(加茂俊委員)
 - ・真面目だなという印象を受けた。みんなSDGsについて語っていたので、浸透してきているなと思った。夢物語な発想もおもしろいと思った。大人と違う目線で子供たちが考えてくれるのはすばらしい。一昨年提案してもらった「みをつくしバスのラッピング」が実現したので、今年も1つくらいは実現させたい。身振り手振りを入れた余裕のある発表ができると良いと思う。こういう経験をするのは大事だと思う。(山本委員)
- グループで活動することによって、みんなに人前で発表する体験をさせたい。調べたり、資料を作ったり、みんなで1つのものを作り上げる経験をさせるのが狙い、と校長よりあった。

(2) 学校教育運営上の課題と対策について

「生活のきまり」の見直しを進めていることの説明が教頭よりあった。

委員からは以下の発言があった。

・令和5年度から変更するバッグはどう決まったのか。(山本委員)

→A. 横長は危ないので縦型に変更。現状メインバッグとサブバッグで1万円を超えるので、高校でも使えるようなものにしたいと検討してきた。子供たちにもアンケートを取り、タブレットも入れられるような形に決めた。サブバッグは自由。また、制服については今すぐには変えられないけれど、みなさんの意見を聞いていきたい。

・部活動について

→A. 浜松市では令和8年9月から、土日は地域に任すことに決まっている。現状人材がいけないなどの問題がある。

・改正案は保護者に見せるのか。(荒谷委員)

→A. 決定したものを子供たちに配布している。

・細江中の子供たちは落ち着いていて保護者の理解もある。体育大会は本当によかった。先生たちも頑張ってくれていた。(山本委員)

今後も気付いたことがあればお知らせください、と校長よりあった。

その他報告事項等

・運営協議会自己評価について

次回会議は、2月22日(水)13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。

令和4年度 第1回 浜松市立細江中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年7月12日（火） 13時30分から15時30分まで
 - 2 開催場所 浜松市立細江中学校 会議室
 - 3 出席委員 山本 浜雄、加茂 俊武、安形 直人、内山 有香、加茂 里佳、鈴木 あおい、
金原 啓介、荒谷 朋子
 - 4 欠席委員 大谷 純一、吉田 真譽
 - 5 学 校 成瀬 滋厚（校長）、久保 賢治（教頭）、伊藤 邦和（専門監）、
宮津 宗之（主幹教諭）、鈴木 小百合（CSディレクター）
 - 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
 - 7 傍聴者 なし
 - 8 協議事項
- (1) 令和4年度学校運営基本方針について
 - (2) 職場体験について（成果、課題、改善点、今後に向けて等）
 - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 小百合
 - 10 会議記録

司会の久保教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達成しているため、会議が成立している旨の報告があった。

熟議の前に以下のことが行われた。

1 会長あいさつ

学校運営協議会も3年目になった。過去2年間はコロナのためなかなか学校へ足を運べなかったもので、今年度は積極的に学校へ足を運びたい。今年度は学校運営協議会として職場体験のための事業所を探すお手伝いできた。良い経験だった。また、昨年度3年生の代表者がまちづくり協議会でプレゼンを行ったが、その中で「みをつくしバスをラッピングする」という提案があり、まちづくり協議会で協議し実現することになったので、生徒たちにデザインをお願いしたい。ホソトレはとても良い取り組みなので、今後とも続けていってほしい、との発言があった。

2 校長あいさつ

中体連が開催され、各部活動が活躍をした。学校運営協議会は3年目になったが、今年度は委員の皆さまに2年生の職場体験の事業所探しにご尽力いただき感謝している。3学期には1年生が職場体験をするのでまたよろしくお願ひしたい。今年度もコロナ対策をしっかりとし教育活動を行うので、ますますのご支援をお願いしたい。また、新たな委員の紹介があった。

3 学校運営協議会の説明

教育総務課の小川指導主事から「学校運営協議会規則」「自己評価表」について説明があった。

4 議長の選出

加茂俊委員より本年度も山本会長に議長をお願いしたいとの発言があり、全員異議なくこれを承認した。

5 前回（令和3年度第4回）の会議録の確認

(1) 令和4年度学校運営基本方針について

前回の協議会で承認されたが、校長より再度説明があった。

学校教育目標は「夢実現へ挑戦する生徒の育成」、学校経営目標は「たくましい実践力のあるいきいきと躍動する学校」。昨年度に引き続き、これを目標としていきたい。生徒一人一人の可能性を伸ばす、学校生活の中で生徒たちが切磋琢磨する、地域や保護者から応援される学校づくりをしていきたい。「あいさつが響く」「全力を尽くす」「思いやりがあふれる」細江中学校。友だちの悪口を言わない等、言い続けたい。地域とともにある細江中学校として今年度も子供たちのために全力を尽くしたい。

(2) 職場体験について（成果、課題、改善点、今後に向けて等）

主幹教諭の宮津より説明があった。

委員の皆さまのお力を借りて、56か所もの事業所を探していただいた。コロナ禍であったので難航したと思うが、学校だけでは無理そうな事業所にも声を掛けてくださり、また、学校のねらいを十分に理解していただき感謝している。146名の生徒が参加したが、生徒たちは体験できてよかったと満足した表情をしていた。細江周辺に多くの業種があることを知り、地域の思いや願いを直接聞くことができたので、事後学習も大変充実している。今後もこの形態で行うか、また、別の形態があるか等検討していきたい。

委員からは以下の発言があった。

- ・生徒たちは事業所をどうやって選んだのか？振り分けは？（加茂俊委員）
→A. 生徒たちがそれぞれ総合で学んでいる内容に近い業種へ割り振った。希望にぴったり合わないこともあったが、その中で学べるところを選んだ。
- ・146名が56か所へ体験に行くというのはどうだったのか？（内山委員）
→A. あまり業種が多すぎても先生方が周りきれない。ちょうどよかったと思う。
- ・今後職場体験が1年生の3学期になる理由は？（内山委員）
→A. 今年度から11月のホソフェスでは2年生と3年生が発表を行うことにした。1年生の後期から2年生の前期まで「地域貢献」のテーマで活動を行い、2年生の後期から3年生の前期まで「地域参画」のテーマで活動を行う。1年生の3学期に職場体験をし、様々な業種や地域の思いなどを知ってから探究活動を進めていく。今年度は移行期間なので、2年生と1年生で職場体験を行うことになった。
- ・受け入れ側の意見として、コロナ前は2日間で9時から15時までと決まっていたが、今回は時間等選べることになったのでありがたかった。地域の子どものために何かしたいと思っ

日間ずっとだと難しかった。1業種しか知れないのではなく、2日目は違うところへ行けるようにしたのは良かったと思う。(鈴木委員)

- ・コロナ禍で受け入れ先を探すのは難しかった。(金原委員)
- ・違う業種を2か所希望し両方とも体験できた生徒もいて、とても良かったと思う。(金原委員)
- ・以前はこんなにたくさんの業種から選べなかった。選択肢が多くあるのは子どもにとっても良いことなので、今後も続けてほしい。(荒谷委員)
- ・コロナ禍で久しぶりの職場体験だったので、大手企業は引き継ぎがされていなかったり、本社の判断を仰がなくてはいかなかったりと大変だった。今回大変だったことをまとめておくと今後に生かせるのでは。子どもたちが体験して良かったという意見を知らせていくと企業も喜ぶと思う。

(加茂里委員)

- ・企業に対して学校からの案内があったほうが良かった。やりとりがスムーズになる。(加茂俊委員)
- ・新しい企業から職場体験の詳しい説明を求められたり、上に確認するのでと連絡先を聞かれたりしたときに、学校が窓口だと分かりやすい。(内山委員)
- ・断られた企業も何件もあった。何をすればよいか分からないと言われてたり、農家は時期的なものもあったり、事業所によっていろいろあったが、やりがいがあった。(山本委員)
- ・コロナ禍だから、従業員が少ないから、忙しいから等いろいろな事情があるなかで、細中生のためにと受け入れてもらった。今後も続けていきたい。生徒はこんな学びがあった等、まとめたい。

(安形委員)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

学校運営の基本方針を具現化するために必要な施策等、教頭より説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

① 部活動の運営方針について

生徒数は半減、教員も減った。教員の働き方改革もあり、部活動廃部規定を設けた。2年続けて規定人数に達しないと廃部となる。浜松市の部活動は今後地域に移行していくことになる。

② 2学期の行事予定等

- ・体育大会…9月14日(水)。応援について昨年度とは少し違う形で、もっと一体感ができるようにやろうと検討中。
- ・合唱コンクール…10月20日(木)。今年度もサーラ音楽ホールで行う予定。
- ・ホソフェス…11月18日(金)。細江町の活性化につながる提案がでると良いと思う。ラッピングバスのデザインは子供たちの夏休みの課題にする予定。

次回会議は、11月18日(金)13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。